

**トヨタ** マルチ ルミ

**model L-248** 説明書

# セコニック マルチ ルミ

## L-248

セコニックマルチルミL-248は反射光式ですが、入射光式としても使用できます。この露出計は特に複合CdSと新設計の受光レンズを採用し、高・低2段切換の等間隔スケールが連動、並びに指針ストッパー機構も採用しております。

### ●仕様

測定方式 ● 反射光式・入射光式兼用、高・低2段切換

(等間隔スケール)

測定範囲 ● 低輝度EV 2～10 高輝度EV 10～18 (ASA100の場合)

測定精度 ● ±0.3 EV以内

受光角度 ● 低輝度32° 高輝度38°

EV目盛 ● -3～23

フィルム  
感度目盛 ● ASA 6～12000 DIN 9～42

絞り目盛 ● F 1～64

シャッター  
目盛 ● 30分～1/4000秒

シネ目盛 ● 8～64f/s (コマ)

校正定数 ● K = 12.5 (B光源による校正)

大きさ ● 100×60×33mm

重さ ● 170gr.

### ●目次●

●仕様	1
●各部の名称	2
●取扱い	5
1. バッテリー	5
2. バッテリーチェック	5
3. 反射光式と入射光式	6
●使用法	7
1. フィルム感度のセット	7
2. 高・低切換と読取り	7
3. シャッタースピードと絞り(露出の読取り)	8
4. シネ目盛	9
5. 1/2・2倍露出	9
●露出の測り方	10
1. 反射光式	10
2. 入射光式	10
●保存上の注意	11

●各部の名称●

正面



2

裏面



3

## ● 取扱い ●

### 1. バッテリー

バッテリーはJIS記号H-D型1.3V水銀電池1個を使用します。まず電池室キャップ⑳を硬貨で左に回すとはずれます。次に水銀電池㉑の⊕側を上に向けて装填してください(写真参照)。水銀電池は普通1年半程度の寿命ですが、露出計を長期間使用しない場合は必ず取り出しておいてください。



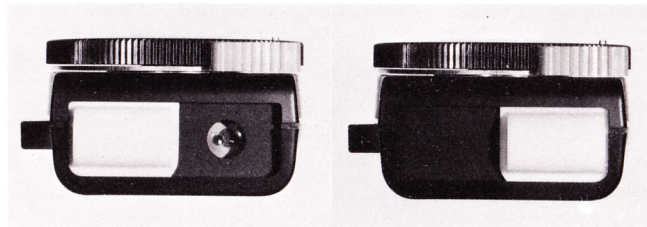
### 2. バッテリーチェック

電池が規定の電圧以下になると露出計の指針は正しい値を示しませんので、使用する前に電池の電圧をチェックしてください。バッテリーチェックボタン⑲を押して、指針⑭がバッテリーチェックマーク⑮の範囲を示さない場合は電圧が低下していますので水銀電池㉑を新しいものと交換してください。なおバッテリーチェックの場合はスイッチボタン⑦を押ししないでください。



### 3. 反射光式と入射光式

露出の測定には反射光式と入射光式の2つの方法があります。マルチルミは反射光式が主体ですが、入射光用スライド①をスライドさせることにより両方使い分けことができます。写真のように受光部を手前に向けて入射光用スライド①を左側にスライドさせると反射光式に、右側にスライドさせると入射光式になります。



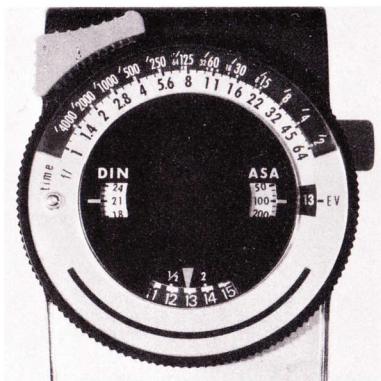
反射光式

入射光式

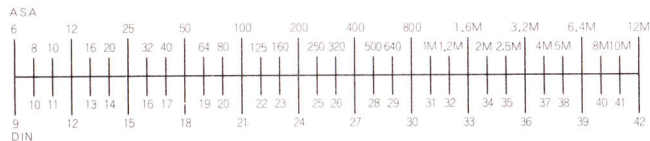
## ● 使用法 ●

### 1. フィルム感度のセット (ASA・DIN)

ASA切替ツマミ⑥を指先で回して、フィルムのASA (DIN) 感度をASA (DIN)⑩⑧窓の黄色の線に合わせてください。写真はASA100 (DIN21)に合わせてあります。



フィルム感度目盛の中間値は図のとおりです。

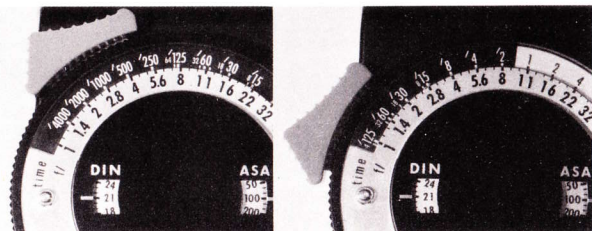


### 2. 高・低切替と読取り

戸外など明るい場所での測定には、高・低切替レバー②を高輝度側にセットし(左側の写真のように)、スイッチボタン⑦を押すと指針ストッパーがはずれて指針⑭が動きます。指針⑭がとまるのを確認して、スイッチボタン⑦をはなすと指針⑭は振れた位置で固定されます。その位置でスケール板⑮上のライト目盛⑰を読み

ります。なお、スイッチボタン⑦を押しても指針⑭が振れない時は、高・低切替レバー②を低輝度側に切替えて(右側の写真のように)高輝度側と同じように測定してください。高・低切替レバー②にライト目盛⑰が連動されていますので同時にスライドされます。

注：ライト目盛⑰の10は切換点のため高・低で多少異なる指示をする場合がありますので、この付近は低輝度側で測定してください。



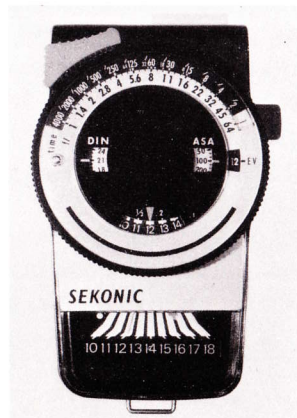
高輝度

低輝度

### 3. シャッタースピードと絞り (露出の読取り)

スケール板⑮上で読取ったライト目盛⑰をライト指標⑪に、ダイヤル⑬を回転させてダイヤルライト目盛⑫を合わせます。そのときのシャッタースピード③と絞り目盛⑤の組み合わせが適正露出です。

例) ASA100の場合、ライト目盛⑰が12ではF2.8, 1/500秒、あるいはF16, 1/15秒などです。



## 4. シネ目盛

使用法及び測定方法は一般の場合と同じですが、シネ撮影の場合はシネ目盛④に対する絞り目盛⑤を読取ります。

例) ASA64の場合、指針⑭がライト目盛⑰の13を示したとします。ライト指標⑪にダイヤルライト目盛⑫の13を合わせ、シネ目盛④に対する絞り目盛⑤を読取ります。たとえば18コマではF11となります。



## 5. 1/2・2倍露出

ライト指標⑪の左右にある1/2・2表示はそれぞれ露出を1段階切りつめる場合と、1段階増加させる場合に使用します。このときはライト指標⑪に合わせるかわりに1/2又は2にダイヤルライト目盛⑫を合わせます。

例) ASA 100の場合、ライト目盛⑰が6のとき露出を一段階増加させるためには6をライト指標⑪の右側にある2のところに合わせてみます。



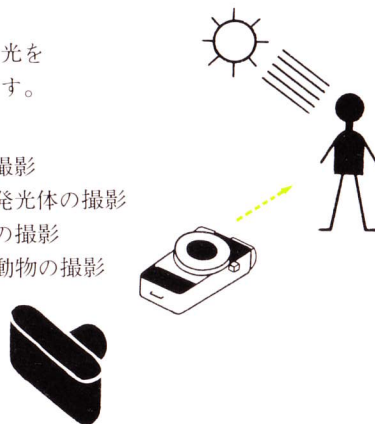
## ●露出の測り方●

### 1. 反射光式

反射光式とは被写体の反射光を測って露出を決める方法です。

#### 適した例

- 1) 部屋のなかから屋外の撮影
- 2) ネオンサインのような発光体の撮影
- 3) ショーウィンドの内部の撮影
- 4) 動物園のおりの中の動物の撮影

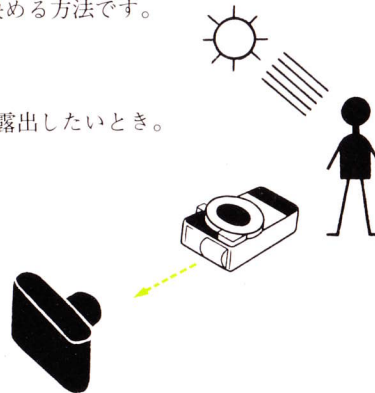


### 2. 入射光式

入射光式とは被写体に当る光の強さを直接測り、被写体の露出を決める方法です。

#### 適した例

- 1) 人物撮影
- 2) 被写体各部の平均値で露出したいとき。



## ●保存上の注意●

1. 落下又は急激な衝撃は絶対に避けてください。
2. 60℃以上の高温を与えないでください。
3. 湿気の多い所に長い間放置しないようにしてください。
4. 長い間、使用せずにしまっておく場合はケースより取り出して桐箱等に防湿剤(シリカゲル等)と一緒に保存してください。但し、磁性に影響のある所及び防虫剤の入っている所への保存は避けるようにしてください。(金庫・金属キャビネット・筆筒等)。  
なお、水銀電池②は露出計から必ず取り出して保存してください。

万一、故障が起きました時は、もよりの営業所、サービス・ステーションにお持ちください。お近くに営業所、サービス・ステーションがなく、郵送される場合は厚さ3 cm以上の衝撃よけパッキングに包んでから段ボールなどに梱包してお送りください。



発売元  
株式会社

# コパル

東京営業所	●〒105 東京都港区芝西久保桜川町7(23森ビル)	03(503)3891(代表)
大阪営業所	●〒541 大阪市東区本町2-25	06(251)1621(代表)
名古屋営業所	●〒460 名古屋市中区大須3-5-10	052(262)4471(代表)
福岡営業所	●〒812 福岡市博多区奈良屋町1-20	092(281)1947(代表)
札幌営業所	●〒060 札幌市中央区南2条西1-1(安藤ビル)	011(221)8707(代表)
広島営業所	●〒730 広島市富士見町11-50(第2仙波ビル)	0822(46)0481(代表)
仙台営業所	●〒980 仙台市一番町1-4-30(睦屋ビル)	0222(27)0725(代表)
本社・工場	●〒174 東京都板橋区志村2-16-20	03(965)1111(大代表)



製造元  
株式会社

# セコニック

セコニック東京支店  
サービス課 ●〒162 東京都新宿区市ヶ谷田町3-8新幹ビル03(269)7241-4